

NPO法人子育てひろば全国連絡協議会 第19回 通常総会 議案書

開催日時：2025年6月1日（日）13:00～13:40

開催場所：ひろば全協事務所（オンライン開催）

次 第

1. 開会の言葉
2. 定数の報告
3. 理事長 挨拶
4. 議長選出・議事録署名人選出 *定款 第5章第26条・30条にもとづく
5. 議案
 - 第1号議案 2024年度 事業報告の件
 - 第2号議案 2024年度 決算報告の件
 - 第3号議案 2025年度 事業計画（案）の件
 - 第4号議案 2025年度 予算（案）の件
6. その他 報告事項
7. 閉会の言葉



2024年度の事業報告について

2024年度は、改正児童福祉法の施行、こども大綱に基づく都道府県・市町村のこども計画策定、こども未来戦略方針に基づく加速化プラン等の各施策がスタートしました。改正児童福祉法に伴い自治体に努力義務として設置が求められている「こども家庭センター」及び「地域子育て相談機関」については、地域子育て支援拠点事業、利用者支援事業が関連することから、国の調査研究への参画やオンラインフォーラム「地域子育て相談機関のあり方について考える」を開催いたしました。特に、利用者支援事業が施行されて10年目となり事業の再編等がありましたので、「利用者支援事業のための実践ガイド」（中央法規出版）を改訂・発行するとともに、普及版のパンフレットの改訂も同時に行い「これならわかる！こどもまんなか社会の利用者支援事業 概要と取組」を発行、会員の皆様に配布させていただきました。

こども家庭庁委託の研修セミナーは、全国セミナーは山口県山口市、地方セミナーは、愛知、福井、福島、東京で開催、合計約1,300名の参加となり、学びと交流の機会となりました。ご登壇者、参加者、関係の皆様改めて御礼申し上げます。

自主事業は、恒例の「リーダーシップ研修」において長年理事を務めていただいた3人の理事から学ぶ1日目と、2日間の対面研修の特別バージョンで開催しました。その他、5年ぶりに実施した「地域子育て支援士一種養成講座」には30名の参加がありました。ひろば全協が参加費無料の講座・セミナーを実施できる背景には、賛同いただいている企業のご支援があります。この場を借りて御礼申し上げます。

また、多くの自治体から個別の研修依頼を受けることができました。ひろば全協では毎年、全国の自治体（県及び市）に研修パンフレットを配布しております。皆様の学びの機会を増やすために、ぜひ地元の自治体にご活用いただけるよう声掛けをお願いいたします。

法人としては中期計画2年目。キャッチフレーズ「ともに支える。こどもと家庭に寄り添う拠点」に沿って事業を展開しました。少子化という大きな社会の状況のなかであって、男性の育児休業取得者が3割を超えるなど好ましい傾向もみられます。国の委員会、調査研究にも積極的に参加しつつ、子育て家庭に接する最前線の現場の声をつなぎながら意見書を提出、皆さま方にも情報提供してきた1年でした。また、法人の基盤強化を目的に理事体制のあり方や情報発信について検討し、未来を見据えて体制整備に努めてきました。

最後に全国の会員の皆さま、ご支援いただいている企業・団体の皆さまに感謝を申し上げ、2024年度の報告とさせていただきます。

NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会 理事長 奥山千鶴子

中期計画キャッチフレーズ 『ともに支える。こどもと家庭に寄り添う拠点』

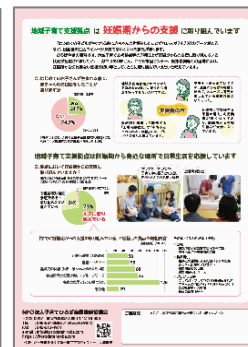
中期計画に取り組んで2年目となった2024年度は、発信のプラットフォームとなるSNSのフォロワー数や発信数の充実につとめるとともに、他機関との連携につなげるためのチラシ媒体の作成、企業との連携強化、会員の方々との交流機会の創出などに力点を置いて活動を行った。

◆重点テーマ1◆ 地域子育て支援拠点の価値の発信と社会的認知度の向上

(1) 妊娠したら、育休取ったら、拠点へGO! キャンペーンの実施

●妊娠期からの親子をともに応援するために専門機関との連携強化に向けたチラシを作成し、会員に各10枚を送付。

各会員が、こども家庭センター・医療機関・保育所等に自団体のひろばを案内するパンフレットとともに持参し、妊娠期からの切れ目ない支援の担い手として、ともに取り組んでいくツールとして活用いただくよう案内を行った。



(2) 拠点で取り組む最新情報の発信

●妊娠期からの地域子育て支援拠点における支援の取組状況について、動画を作成し、ホームページに掲載するとともに、InstagramなどのSNSで配信を進めていく準備を行った。

取組事例①

市内のすべての拠点で実施している「妊婦さんと家族のための講座」によって、保健師、助産師さんとの連携で情報提供を行ったり沐浴練習会などを実施する

ことで、産後の拠点利用につながる様子を紹介。

取組事例②

行政と協働で実施している事例として、拠点が保健師さんと連携して開催しているママパパ学級や、先輩パパとの交流会、こども家庭センターとの連携による妊娠8か月面談などを紹介。

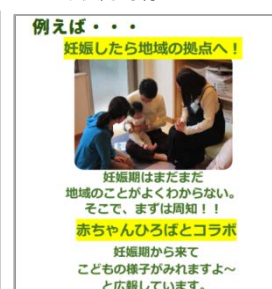
取組事例動画①

一般社団法人ここみ



取組事例動画②

NPO法人松戸子育てさぼーとハーモニ



◆重点テーマ2◆ 会員と共に育てる豊かな地域子育て支援

(1) 会員間のコミュニティづくり

●ランチ交流会

こども家庭庁の研修セミナーの地方開催で団体名を紹介するなどランチ交流会を実施。ネットワーク作りの機会を創出した。

●オンライン交流会の実施

NPO法人ふらっとスペース金剛のひろばの様子をオンラインで中継し、環境設定などの工夫を紹介した。SNSも活用した周知を行ったが、直前の周知であったこともあり参加人数は少なかつたため今後は内容を再検討する。



(2) ひろば全協へ意見を収集しニーズに沿った事業を実施

●テーマ別交流会

日頃気になるテーマについて会員同士で情報交換をしながら交流した。

- ・テーマ①ボランティアの力を拠点に活かす
- ・テーマ②スタッフ同士のコミュニケーション
- ・テーマ③地域を巻き込んだつながりづくり

●利用者支援専門員のひろば

登録した利用者支援事業(基本型)を実施する会員に講座を実施しネットワーク作りにつなげた。

◆重点テーマ3◆ 企業や行政をはじめとした多様な関係者とのつながりの強化

(1) 企業との連携

助成金により、地域子育て支援に関わる従事者の質の向上と研修の開発、学びのためのツール作成などに貢献いただいた。また、社員が安心して地域で子育てをするイメージを持つことができるように、子育てひろばへの理解を深めていただく機会を創出するとともに、利用者と企業の方が交流することで、育休や両立支援などに関する情報交換を行う機会にもなっている。

●住友生命「未来を強くする子育てプロジェクト」

各種研修の開発、冊子発行、書籍の編集、調査研究、フォーラムなど、各事業の基礎となる部分に多大なるご助成をいただき、子育て環境の整備と実践者への支援にお力添えをいただいている。

<2024年度の主な活動内容>

- ・プレママ・プレパパ向けの講座のためのワークショップ
- ・地域子育て相談機関フォーラム
- ・予防型プログラム研修
- ・テーマ別交流会
- ・利用者支援専門員（基本型）のひろば



●熊谷組「スマイルプロジェクト」(2020年～継続中)

社員がボランティア休暇を利用し、ひろばでこどもの見守りやイベントのお手伝いに参加。熊谷組のマスコットキャラ「くま所長」をあしらった『くまトレイン』をひろばにプレゼントした。NPO法人ゆったりの「ゆうゆうひろば」(東京都新宿区)で、夕涼み会やスイカ割りのお手伝いなど、親子の見守りも行っていった。



●江崎グリコ株式会社 バイグリコ活動による資金支援プログラム 『CSR イベント 2024』

従業員自社商品購入点数をポイント化し、そのポイントを資金とした助成をいただくとともに、札幌・仙台・横浜のひろばで社員の方がボランティアとして活動。森の中を一緒に散策したり、拠点の中で絵本の読み聞かせやイベントのお手伝いを行っていただいた。

【北海道】 NPO法人子育て応援かざぐるま (北海道札幌市)

2024/10/23 2歳児の森のようちえん「トコトコらぶ」・2024/10/24 子育て拠点てんでん



【宮城】 NPO法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク (宮城県仙台市)

2024/10/24 のびすく若林 / 2024/10/25 のびすく仙台



【神奈川】 認定NPO法人びーのびーの (神奈川県横浜市)

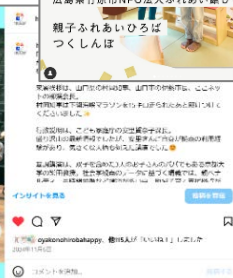
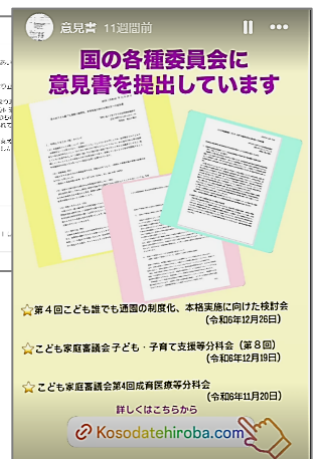
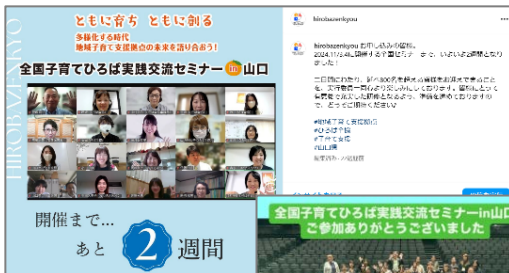
2024/10/11・2024/11/19 港北区地域子育て支援拠点どろっぷ

●経団連と日本NPOセンター共催の「企業とNPOの集い」に参加

プレママ・プレパパ支援を中心に拠点の役割を紹介すると共に参加企業に対してひろば全協の認知度UPを目指した。

(2) SNSの整備

- ・Instagramのフォロワー数の目標を1000と設定し、2024年度末で1127フォロワーを達成。
- ・研修事業の告知や報告、理事の活動や拠点訪問の様子、意見書提出や委員会出席など多面的に活用した。



2024年度事業報告の件

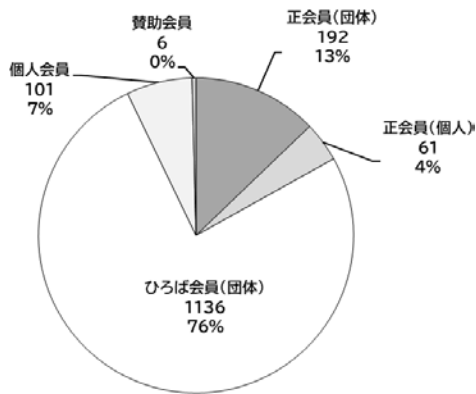
2024年4月1日～2025年3月31日

1. 会員について (2025年3月31日時点)

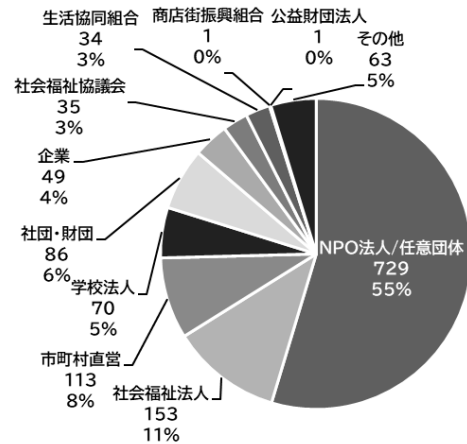
会員総数 1,496 (団体 1,334 個人 162) 前年より 31 増加 (新規: 99)

正会員(団体) 192 正会員(個人) 61 ひろば会員 1,136 賛助会員 6 個人会員 101

会員種別



運営主体



◆都道府県別 会員数

	正(団体)	正(個人)	ひろば	個人	賛助	総計		正(団体)	正(個人)	ひろば	個人	賛助	総計		正(団体)	正(個人)	ひろば	個人	賛助	総計
北海道	2	2	27	6	0	37	山梨県	6	0	10	0	0	16	鳥取県	0	0	2	0	0	2
青森県	1	1	3	1	0	6	静岡県	6	2	24	3	0	35	広島県	3	1	30	1	0	35
秋田県	0	0	5	0	0	5	愛知県	5	3	52	6	1	67	山口県	3	1	26	2	0	32
岩手県	2	1	8	0	0	11	岐阜県	2	2	5	4	0	13	愛媛県	6	0	15	1	0	22
宮城県	4	2	10	3	2	21	石川県	2	0	7	0	0	9	香川県	8	3	19	0	0	30
山形県	4	1	9	2	0	16	富山県	0	0	0	4	0	4	徳島県	4	0	5	2	0	11
福島県	3	1	16	0	0	20	福井県	3	1	8	0	0	12	高知県	2	1	1	0	0	4
新潟県	3	2	11	2	0	18	三重県	3	0	4	1	0	8	福岡県	0	2	35	3	0	40
栃木県	0	0	8	0	0	8	和歌山県	0	0	10	0	0	10	長崎県	2	0	20	1	0	23
茨城県	2	0	18	3	0	23	大阪府	19	5	153	5	0	182	熊本県	4	1	8	1	0	14
群馬県	2	0	5	0	0	7	京都府	2	1	30	1	0	34	佐賀県	0	1	12	3	0	16
埼玉県	19	2	38	8	0	67	滋賀県	1	0	15	1	0	17	大分県	4	1	13	2	0	20
千葉県	9	7	37	3	0	56	奈良県	1	1	34	1	0	37	宮崎県	1	0	8	0	0	9
東京都	21	6	144	15	3	189	兵庫県	6	1	38	3	0	48	鹿児島県	2	1	17	0	0	20
神奈川県	16	5	129	4	0	154	岡山県	6	3	23	2	0	34	沖縄県	0	0	3	5	0	8
長野県	3	0	39	2	0	44	鳥根県	0	0	2	0	0	2	合計	192	61	1136	101	6	1496

2. 住友生命「未来を強くする子育てプロジェクト」助成事業

あなたの未来を強くする



(1) 利用者支援専門員 (基本型) のひろば

利用者支援事業 (基本型) の実施団体と専門員のための「利用者支援専門員 (基本型) のひろば」を実施。事業の目的や専門員の役割を確認し、情報提供・情報交換、事例検討等を通じて事業の促進やスキルアップを図ると共に、相談支援体制の強化、専門員の更なる社会的位置づけの向上を目指した。

① 「利用者支援専門員 (基本型) のひろば」への登録とメールマガジンの配信

- ・「利用者支援専門員 (基本型) のひろば」への登録推進をHPやメールニュースで広報した。
- ・登録要件: 「ひろば全協会員」かつ「利用者支援事業 (基本型) を実施している拠点または専門員」
- ・登録者数: 144 (2025年3月31日現在)
- ・隔月でメールマガジンを配信し、利用者支援事業についての国の「最新情報」、「各地の取組」など利用者支援事業に特化した情報提供を行った。(4月、6月、8月、10月、12月、2月)

②利用者支援専門員（基本型）のひろば専用講座の開催（オンライン開催）

2023年度にもご好評いただいた講座を2回開催し、具体的な事例を基にグループワークを行った。

日程	時間	人数	事例内容
9/13（金）	13:30～16:30	39	こどもの発達に課題を持つ、転居してきた家族への支援
2025/2/13（木）	13:30～16:30	23	夫の手助けなく双子の乳児を育てる母親への支援

●講師：橋本真紀先生 関西学院大学 教授

●コーディネーター：ひろば全協理事

③交流会の開催1回

全国の利用者支援専門員が日頃の活動での気づきや課題等を情報交換するための交流会を開催した。

日程	時間	人数	テーマ
12/13（金）	13:30～16:30	31	・記録、情報管理＋行政との情報共有の課題 ・地域連携での課題

●コーディネーター：ひろば全協理事

(2)「利用者支援事業のための実践ガイド」改訂 第2版発行

初版 4,000部を完売したため、新しい制度や最新の実践事例等を掲載した改訂を行い、子育て支援員研修や利用者支援事業の研修等でも活用できる内容とした。

執筆者：橋本真紀先生（関西学院大学 教授）
新澤拓治さん（社会福祉法人 雲柱社 施設長）
坂本純子さん（NPO 法人新座子育てネットワーク 代表理事）
奥山千鶴子（ひろば全協理事）

内容：第1章 利用者支援事業の創設と制度的な位置づけ
第2章 利用者支援事業の概要
第3章 利用者支援専門員の役割と力量
第4章 利用者支援事業の運営
第5章 利用者支援の実践事例
第6章 資料

編著：橋本真紀

編集：NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会

発行時期：2025年4月

発行：中央法規出版（株）

定価：2,200円（本体2,000円＋税10%）



(3)「利用者支援事業の実践のために」パンフレット改訂

新しい制度や最新の実践事例等を掲載し、利用者支援事業を理解していただくため、わかりやすく解説したパンフレットの最新版を作成した。

タイトル：「こどもまんなか社会の利用者支援事業 概要と取組」

執筆者：橋本真紀先生（関西学院大学 教授）

奥山千鶴子・小川由美・松田妙子（ひろば全協理事）

発行時期：2025年3月

ページ：16ページ

発行：NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会

印刷部数：10,000部

配布先：ひろば全協の全会員（1,500会員）

全国の地域子育て支援拠点（5,800か所）

セミナー参加者等（約1,500名）

WEBからのダウンロードも可能



ダウンロード 用 QR



(4) 地域子育て相談機関フォーラム（オンライン開催）

令和6年4月1日から地域子育て相談機関が創設され、子育て世帯にとっていつでも気軽に遊びに行ける地域子育て支援拠点は、地域子育て相談機関の一翼を担う場として期待されている。これまで拠点は親同士の相互交流を行い、親子を地域とつなぐ中で、子育ての不安・悩みを相談できる関係性を育ててきた。すでに地域子育て相談機関の取り組みが始まっている拠点の先駆事例やこども家庭センターとの連携のあり方など、期待されている役割を一緒に考えた。

●**テーマ**：地域子育て相談機関のあり方について考える ～期待されている役割やこども家庭センターとの連携

●**日時**：2025年1月23日(木) 13:30～16:00

●**プログラム内容**

来賓挨拶 松井秀樹 様

(住友生命相互会社 ブランドコミュニケーション部
ソーシャルコミュニケーション室 室長)

1. 行政説明 安里賀奈子さん（こども家庭庁 成育局 成育環境課 課長）

2. 講演「地域子育て相談機関のあり方 期待される役割と課題」

講師：倉石哲也先生（武庫川女子大学 教授）

3. トークセッション「期待される役割と連携について」

話し手：牛田由美子さん（NPO 法人ファミリーステーションRin 副代表理事）

新澤拓治さん（社会福祉法人雲柱社 施設長）

倉石哲也先生（武庫川女子大学 教授）

コーディネーター：中條美奈子（ひろば全協 理事）

●**チラシ送付先**：ひろば全協会員、全国の地域子育て支援拠点

●**参加者**：403 名

●**参加費**：無料



(5) 「予防型プログラム(講座・講習)」地域子育て支援拠点職員が実施するための手引きを活用したフォーラムの開催・研修の実施（オンライン開催）

利用者参加型のグループワークを活用したプログラムをすでに実施している職員に向け、拠点を利用する親が自分なりの子育てを見出し肯定的な養育イメージが得られるよう支援するための「予防型プログラム」の理解を深め、実践力をつける講座を実施した。

① 「予防型プログラム」研修初任者向けの実施（オンライン開催）

日程	時間	人数	協力団体
7/29 (月)	13:30～15:30	38	NPO 法人くすくす
2025/2/5 (水)	13:30～15:30	39	NPO 法人くすくす

●**対象者**：利用者参加型のグループワークを活用したプログラムの実施経験が浅い拠点の職員

●**講師**：2 名（ひろば全協理事）

●**参加費**：無料

② 「予防型プログラム」研修経験者向けの実施（オンライン開催）

グループワーク後の振り返りや日頃の活動への活用方法など「予防型プログラム」のさらなる展開を学ぶ研修プログラムを開催した。

日程	時間	人数	協力団体
10/21 (月)	13:30～16:15	35	NPO 法人せたがや子育てネット
2025/2/19 (水)	13:30～16:15	38	認定 NPO 法人びーのびーの

●**対象者**：経験者向け（何度か予防型プログラムを実施した経験のある拠点職員）

●**講師**：2 名（ひろば全協理事）

●**参加費**：無料

(6) プレママ・プレパパ向け講座のためのワークショップ（オンライン開催）

妊娠期からの切れ目ない支援のために、地域子育て支援拠点でできる「プレママ・プレパパ向け講座」について考えるワークショップを2回開催した。キャンセル待ちを受け付けるほどたくさんのお申し込みをいただいた。尚、当日事務局は協力団体に依頼した。

日程	時間	人数	協力団体
8/21 (水)	10:00~12:00	46	NPO 法人あっと
2025/1/30 (木)	10:00~12:00	48	NPO 法人ふらっとスペース金剛



- 対象：地域子育て支援拠点等でプレママ・プレパパ向け講座の開催を希望する団体に所属する方
- コーディネーター：2名（ひろば全協理事）
- 参加費：無料

(7) テーマ別交流会（会員限定 オンライン開催）

支援者の関心が高いテーマについて交流・情報交換し、支援者同士がピアサポートし合う機会として開催した。また交流会後の30分延長プログラム「ちょこっと交流会」も開催し、追加での情報交換が好評だった。

	日時	テーマ	人数	協力団体
1	7/17(水) 13:30~15:00 +ちょこっと交流会 30分	ボランティアの力を拠点に活かす	33	認定 NPO 法人マミーズ・ネット
2	9/18(水) 13:30~15:00 +ちょこっと交流会 30分	スタッフ同士のコミュニケーション	40	NPO 法人アンジュ・ママン
3	2025/1/14(火) 13:30~15:00 +ちょこっと交流会 30分	地域を巻き込んだつながりづくり	33	NPO 法人松戸子育てさぽーとハーモニー

- 参加要件：ひろば全協の会員であること
- コーディネーター：2名（ひろば全協理事）
- 参加費：無料

3. こども家庭庁委託事業 地域の人材による子育て支援活動強化研修

地域子育て支援拠点事業、利用者支援事業の従事者、行政担当者、地域で子育て支援に従事している方々を対象に、5つの開催地に分けて、のべ1,332名の方々に参加いただいた。

(1) 全国規模（全国セミナー）

テーマ：「ともに育ち ともに創る～多様化する時代、地域子育て支援拠点の未来を語り合おう！」

開催名	全国子育てひろば実践交流セミナー in 山口		
日時	11/3 (日・祝) 13:00~17:30 11/4 (月・振休) 9:00~12:30	(1日目：全体会) (2日目：分科会・全体会)	
会場	山口市産業交流拠点施設 KDDI 維新ホール (山口県山口市小郡令和1丁目1-1)		
後援	山口県、山口市、(社福)全国社会福祉協議会 日本子ども・子育て支援センター連絡協議会 (ここネット)		
参加人数	456名(2日間でのべ803名) 1日目参加者400名 2日目参加者403名 第1分科会59名/第2分科会97名/第3分科会59名/第4分科会132名/第5分科会56名		
運営協力	全国子育てひろば実践交流セミナー in 山口実行委員会		
実行委員会事務局	NPO 法人あっと		

台風接近の影響で、対面実施が心配されたが、無事に2日間とも400名を超える参加者をお迎えして現地開催することができた。1日目は、こども家庭庁成育環境課の安里課長にご登壇いただき、国の最新情報を説明いただいた後、基調講演は、京都大学大学院人間・環境学研究科教授の柴田 悠先生にご登壇いただいた。その後、県の行政情報や拠点での実践事例を交えながら拠点事業のこれからについてパネルディスカッションを行った。2日目は5分科会を開催し、有識者の先生方の講義とともに全国の実践者が交流、情報交換をすることができた。開催にあたっては、実行委員会形式で県内実践団体に協力いただき、当日スタッフとして多くの方々の協力があったことでスムーズな運営を実現することができた。

《実行委員会》（所属は開催当時・敬称略）

実行委員長 伊藤一統 宇部フロンティア大学短期大学部保育学科 教授
 実行委員 岡崎啓子 なないろキッズ 代表
 肥塚新一 社会福祉法人聖母園 園長（子育て支援センター めばえの会）
 佐藤光恵 NPO 法人やまぐちレーテ子育て Bambini 理事長
 新内和美 NPO 法人下関子ども・子育てネット 理事長
 宗里照美 社会福祉法人八波会若葉保育園 園長（子育て支援センター グリーンデイ）
 小川由美 NPO 法人アンジュ・ママン 施設長・ひろば全協 理事
 藤井智佳子 NPO 法人あっと 代表理事・ひろば全協 理事
 オブザーバー 吉村功二 山口県こども・子育て応援局こども政策課保育・母子保健班長 主幹
 牧元優弥 山口県こども・子育て応援局こども政策課保育・母子保健班 主事
 横沼真介 山口市こども未来部こども未来課子育て応援担当 主幹
 木村浩美 山口市こども未来部こども未来課子育て応援担当 主任主事

< 1 日目 > (13:00~17:30)

- 行政説明：地域の子育て支援に関する施策の現状
- 基調講演：子育て支援が日本を救う！ ～地域子育て支援拠点への期待～
- パネルディスカッション：こどもと家庭のウェルビーイングを高める 未来志向の子育て支援

< 2 日目 >

●分科会 (9:00~11:30)

- 【第1】地域子育て支援拠点事業の機能と役割、未来に向けて
- 【第2】地域子育て支援拠点がより身近な相談の場となるために ～利用者支援事業や地域子育て相談機関のよき担い手をめざす～
- 【第3】多様なニーズに応える地域子育て支援拠点事業の質的向上について
- 【第4】こどもの権利の視点にたった”乳幼児の声を聴く“ひろばづくり～保護者や地域と共に～
- 【第5】妊娠期からの切れ目ない支援、母子保健との連携

●全体会 (11:40~12:30)

(2) 地方ブロック（地域子育て支援拠点研修）

開催名	愛知開催	福井開催	福島開催	東京開催
日時	8/4 (日) 10:00~16:00	9/8 (日) 10:00~16:00	9/22 (日・祝) 10:00~16:00	2025/1/26 (日) 10:00~16:00
会場	栄ガスビル 栄ガスホール (名古屋市中区栄 3-15-33)	プラザ萬象 小ホール (敦賀市東洋町 1-1)	コラッセふくしま 多目的ホール (福島市三河南町 1-20)	東京ウィメンズプラザ ホール (渋谷区神宮前 5-53-67)
後援	愛知県・名古屋市 (社福)全国社会福祉協議会	福井県・敦賀市 (社福)全国社会福祉協議会	福島県・福島市 (社福)全国社会福祉協議会	東京都 (社福)全国社会福祉協議会
参加人数	134 名	126 名	104 名	165 名
協力	認定NPO 法人 子育て支援のNPO まめっこ	NPO 法人子育てサポート センターきらきらくらぶ	NPO 法人 しらかわ市民活動支援会	NPO 法人 せたがや子育てネット

開催地事務局団体の協力のもと、いずれも100名を超える方々に参加いただくことができた。地域子育て相談機関やこども家庭センターなど、国の新たな仕組みについての注目度も高く、アンケートでは、資料集をよく読み返したいという声も多かった。パネルディスカッションでは、母子保健などの専門機関はもちろんのこと、多様な地域の社会資源と連携し、子育て家庭を包括的、継続的に支援していく仕組みづくりなど先進事例の発表があった。

4. 自治体等受託事業

地域子育て支援拠点従事者のための基礎研修・応用研修および、利用者支援事業等従事者研修、地域子育て支援士二種養成講座、講義型研修を実施した。基礎研修、応用研修についてはすべて対面研修で実施し、ファシリテーターの方々にも活躍していただいた結果、活発なグループワークを行うことができた。

※2024年度末現在：基礎研修修了者 3,061名、応用研修修了者 1,093名

番号	契約先	支援員	研修内容	1日目	2日目	会場
1	世田谷区		基礎研修①(世田谷区初任者研修)	2024/7/11	2024/8/20	子ども・子育て総合センター
2	世田谷区		基礎研修②(世田谷区初任者研修)	2024/12/17	2025/1/21	子ども・子育て総合センター
3	世田谷区		応用研修(世田谷区初任者ステップアップ研修)	2024/10/18	2024/11/22	子ども・子育て総合センター
4	世田谷区		講義型研修(世田谷区リーダー研修①)	2024/7/18	-	世田谷区文化生活情報センター
5	世田谷区		講義型研修(世田谷区リーダー研修②)	2024/12/10	-	世田谷区立保健医療福祉総合プラザ
6	世田谷区		講義型研修(世田谷区中堅者研修)	2025/2/4	-	子ども・子育て総合センター
7	世田谷区		講義型研修(世田谷区相談対応スキルアップ①)	2024/9/19	-	世田谷区文化生活情報センター
8	世田谷区		講義型研修(世田谷区相談対応スキルアップ②)	2024/11/7	-	世田谷区男女共同参画センターらぶらす
9	世田谷区		講義型研修(世田谷区相談対応スキルアップ③)	2025/1/31	-	子ども・子育て総合センター
10	文京区	○	地域子育て支援士二種養成講座	2024/11/18	-	文京区民センター
11	山梨県		応用研修	2024/10/23	2024/11/28	山梨県青少年センター
12	浜松市	○	講義型研修	2024/9/4	-	浜松市役所
13	北九州市		講義型研修	2024/11/12	-	AIM アジア太平洋インポートマート
14	奈良市	○	利用者支援事業等従事者研修	2025/2/27	-	オンライン
15	練馬区		基礎研修	2024/12/4	2025/1/16	ココネリ
16	練馬区		応用研修	2024/12/2	2025/1/9	ココネリ
17	香川県		講義型研修	2024/10/22	2024/11/29	高松:サンメッセ香川 丸亀:丸亀市市民交流活動センター
18	大分県	○	地域子育て支援士二種養成講座	2024/11/25	-	コンパルホール大分
19	池田市	○	地域子育て支援士二種養成講座にて受講	2024/6/28	-	オンライン
20	池田市	○	地域子育て支援士二種養成講座にて受講	2024/8/29	-	オンライン
21	池田市	○	地域子育て支援士二種養成講座にて受講	2024/11/26	-	オンライン
22	池田市	○	地域子育て支援士二種養成講座にて受講	2025/2/12	-	オンライン
23	(一財)保健福祉振興財団	○	地域子育て支援拠点事業【鳥取県】前期	2024/8/2	-	オンライン
24	(一財)保健福祉振興財団	○	地域子育て支援拠点事業【鳥取県】後期	2024/10/9	-	オンライン
25	(一財)保健福祉振興財団	○	利用者支援事業(特定型)【鳥取県】	2024/11/7	-	オンライン
26	(一財)保健福祉振興財団	○	地域子育て支援拠点事業【福島県】	2024/11/21	2024/12/20	オンライン
27	(一財)保健福祉振興財団	○	利用者支援事業(基本型)【福島県】	2025/1/7	2025/1/8	オンライン
28	(一財)保健福祉振興財団	○	地域子育て支援拠点事業【東京都】	2024/10/4	-	トヨタドライビングスクール(立川)
29	(一財)保健福祉振興財団	○	地域子育て支援拠点事業【東京都】	2024/11/27	-	ワイム(高田馬場)
30	(一財)保健福祉振興財団	○	地域子育て支援拠点事業【東京都】	2025/2/9	-	ワイム(お茶の水)
31	(一財)保健福祉振興財団	○	地域子育て支援拠点事業【東京都】	2025/2/26	-	こくほ 21(新宿)
32	(一財)保健福祉振興財団	○	利用者支援事業(基本型)【東京都】	2024/10/12	2024/10/13	ワイム(お茶の水)
33	(一財)保健福祉振興財団	○	利用者支援事業(基本型)【東京都】	2024/11/11	-	トヨタドライビングスクール(立川)
34	(一財)保健福祉振興財団	○	利用者支援事業(基本型)【東京都】	2025/2/7	-	こくほ 21(新宿)
35	(一財)保健福祉振興財団	○	利用者支援事業(特定型)【東京都】	10/31~11/11	-	オンライン(オンデマンド)
36	仙台市	○	利用者支援事業等従事者研修にて受講	2024/8/5	-	オンライン
37	柏市	○	利用者支援事業等従事者研修にて受講	2024/8/5	-	オンライン
38	青森市	○	利用者支援事業等従事者研修にて受講	2024/8/5	-	オンライン
39	蕨崎市	○	利用者支援事業等従事者研修にて受講	2024/8/5	-	オンライン
40	見附市	○	利用者支援事業等従事者研修にて受講	2024/8/5	-	オンライン
41	仙台市	○	利用者支援事業等従事者研修にて受講	2024/11/18	-	オンライン
42	山鹿市	○	利用者支援事業等従事者研修にて受講	2024/11/18	-	オンライン
43	和歌山県 ホッピング	○	利用者支援事業等従事者研修にて受講	2024/11/18	-	オンライン
44	上野原市	○	利用者支援事業等従事者研修にて受講	2025/2/12	-	オンライン

5. 自主事業

(1) 地域子育て支援拠点等 初任者研修 (オンライン会議)

実践現場の初任者が押さえておきたい知識を2時間にまとめた初任者研修を5回開催し388名が受講。地域子育て支援拠点事業における活動の指標「ガイドライン」を軸に、子育ての現状や制度、地域子育て支援拠点事業の意義や役割、基本的な支援のあり方、守秘義務などを学ぶ機会を提供することができた。

	日程	時間	人数	講師
1	6/20 (木)	10:00~12:00	93	藤井
2	8/1 (木)	10:00~12:00	87	野口
3	10/29 (火)	10:00~12:00	84	廣崎
4	12/5 (木)	10:00~12:00	68	野口
5	2025/2/4 (火)	10:00~12:00	56	廣崎

- 講師：1名 (ひろば全協理事)
- 受講料：3,300円 (税込) /1名
- 受講対象：地域子育て支援拠点等の初任者、ボランティアスタッフなど
- 受講要件：PC等 (1名1台) で顔を表示して受講できること

(2) 地域子育て支援士二種養成講座 (オンライン開催)

2024年度は5回の講座を実施。全国の地域の子育て支援にかかわるスタッフや、ボランティア、学生など幅広い方々の認定講座として多くの方に受講いただいた。2024年度末の認定者数は5,325名となった。

*「地域子育て支援士」は登録商標を取得済み。商標登録第5708302号

	日程	時間	協力団体	人数	講師
1	6/28 (金)	9:30~16:50	NPO法人せたがや子育てネット	56	松田
2	8/29 (木)	9:30~16:50	認定NPO法人わははネット	57	中橋
3	9/28 (土)	9:30~16:50	認定NPO法人びーのびーの	44	奥山
4	11/26 (火)	9:30~16:50	NPO法人ふらっとスペース金剛	56	廣崎
5	2025/2/12 (水)	9:30~16:50	NPO法人あっと	33	藤井

- 講師：1名 (ひろば全協理事)
- 受講料：9,900円 (税込)
- 認定：講座終了時の認定試験合格者に認定証発行
- 受講要件

- ①地域子育て支援拠点等における活動者 (有給の職員だけでなく継続的なボランティアも含む)
- ②大学・短大・専門学校等において保育士・社会福祉士・保健師 いずれかの養成課程に在籍する学生、その他、心理学を修める大学の学部・学科に在籍する学生
- ③保育士・社会福祉士・保健師のいずれかの資格取得者
- ④地域子育て支援拠点等におけるボランティア経験を有する者



(3) 地域子育て支援士一種養成講座

地域子育て支援拠点等の従事者に対し、一定の養成教育を受けたことをひろば全協が認定する資格講座。5年ぶりに実施し、全国から30名の方にお申込みをいただいた。2024年度末の認定数は182名。

日程	時間	会場	講師	人数
8/24 (土) ~8/26 (月)	10:00~17:20	GINZA Uni-Ku7 丁目店	渡辺顕一郎先生・奥山千鶴子	30

- 受講料：50,600円 (税込/1名)
- 認定：3日間を通して講座を受講し振り返りレポートを提出した方に認定証を発行
- 受講要件：要件①・②の両方を満たし、3日間すべて受講可能な方
 - 【要件①】週3日1日3時間以上開設の地域子育て支援拠点等で概ね3年または通算1,300時間程度の実践経験
 - 【要件②】*以下の項目のいずれかを満たすこと
 - 保育士・社会福祉士・看護師・助産師・保健師・精神保健福祉士・臨床心理士・「地域子育て支援士二種」認定者・ひろば全協「応用研修」修了者・地域子育て支援拠点の「所長」として3年以上の経験者

(4) 利用者支援事業等従事者研修(オンライン開催)

2024年度から研修事業名について、利用者支援事業に関する研修であることを明確にするために、「子育て支援コーディネーター養成講座」から「利用者支援事業等従事者研修」に変更した。尚、国の子育て支援員専門研修の利用者支援事業(基本型)のシラバスと合致することから、自治体の子育て支援員研修としても活用いただいている。(2024年度末での修了者数は1,210名)

	日程	時間	人数	講師
1	8/5(月)	9:30~18:30	40	小川・石田
2	11/18(月)	9:30~18:30	55	中條・安田

- 講師：2名(ひろば全協理事)
- 受講料：26,400円(税込)
- 修了証書：事前課題に取り組んだ上、講座を受講した方に修了証書発行
- 受講要件：地域子育て支援拠点など親子が継続的に利用できる施設で、概ね3年または通算1,300時間程度の実践経験者、および、それらに準ずる者

(5) 利用者支援スキルアップ講座(オンライン開催)

弁護士の埜先生をお招きし、利用者支援事業に従事している中で感じている人間関係のヒヤリハット、コンプライアンスに関する疑問や課題について受講者と一緒に考える機会を提供することができた。

日程	時間	人数	コーディネーター
2025/2/12(水)	13:30~16:30	42	松田

- テーマ：「距離を縮めると衝突する人間関係 ～利用者支援と法的リスクを考えよう」
- 受講料：12,100円(税込)
- 講師：埜創平さん(りのは綜合法律事務所)
- 受講要件：下記のいずれかに当てはまる方
 - ・子育て支援コーディネーター養成講座の修了者
 - ・利用者支援事業現任者
 - ・利用者支援事業に類する業務の従事者

(6) リーダーシップ研修(*会員限定 オンライン+対面開催)

2024年度は、特別に3日間開催とし、1日がオンライン、2日目、3日目は対面研修として実施した。1日目は、「創設者から学び、未来を展望する」というテーマで、2024年度の総会をもって理事を退任された坂本、野口、中橋さんにオンラインで登壇いただき、ひろば全協創設時からのリーダーとしての考え方や次世代へメッセージを語っていただいた。2日目からは5年ぶりの対面研修であり、参加者からは、「全国の仲間に来て話せて嬉しい」「たくさんの学びや気づきがあった」などの感想をいただいた。

開催日時	開催方法	人数
6/26(水) 13:00~17:00 (オンライン)	オンライン開催	49
7/6(土) 13:00~18:00 (対面)	会場：横浜ワールドポーターズ (横浜市中区新港2-2-1)	
7/7(日) 9:00~12:00 (対面)		

- 対象者：団体の代表、理事、サブリーダー、次世代リーダーなどでリーダーシップを身につけたい方
- 受講料：22,000円(税込)
- 受講要件：
 - ・ひろば全協の会員の方
 - ・PC等(1名1台)で顔を表示して受講できること(1日目のみ)

(7) 公開セミナー（オンライン開催）

こども基本法にのっとり策定された「幼児期までにこどもの育ちに係る基本的なビジョン（こどもの育ちのビジョン）」では、母親の妊娠期から幼保小接続期の重要な時期がおおむね100か月であることから、「はじめの100か月」の育ちを支え生涯にわたるウェルビーイングの向上が強調されている。そこで、国の部会の委員として関わられた大豆生田先生に5つのビジョンを中心に解説いただき、その後のトークセッションでは、拠点事業の実践にどう活かすことができるかを考える機会とすることができた。

●日時：2024年6月2日（日）14:00～16:30

●対象者：子育てひろばに関わる実践者・行政担当者・研究者など

●参加人数：261名

●テーマ：「こどもの育ちのビジョンを実践に活かすために」

プログラム1 行政説明：「地域の子育て支援に関する施策の現状」

こども家庭庁成育局成育環境課長 山口正行さん

プログラム2

基調講演&ミニトークセッション（14:50～15:50）

講師：大豆生田啓友さん（玉川大学教育学部 教授）

聞き手：奥山千鶴子（NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会 理事長）

プログラム3

情報交換会

コーディネーター：藤井智佳子（ひろば全協 理事）

(8) 書籍販売

「詳解 地域子育て支援拠点ガイドラインの手引 子ども家庭福祉の制度・実践をふまえて 第4版」

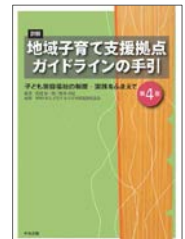
●価格：2,420円(税込)

●発行：中央法規出版

（ご参考）これまでの発行部数 21,000部

【第1版】5,000部 【第2版】6,000部

【第3版】6,500部 【第4版】3,500部（2023年1月発行）



「地域子育て支援拠点で取り組む利用者支援事業のための実践ガイド」

●価格：1,980円(税込)

●発行：中央法規出版

（ご参考）これまでの発行部数 6,000部

【初版】4,000部 【第2版】2,000部



(9) 子育てひろば総合補償制度の拡充

*引き受け保険会社：東京海上日動火災保険株式会社

子育てひろばで発生しうる事故を想定して作られた総合補償制度であり、任意加入ではあるものの、安心、安全のためにもひろば保険の普及に努めた。具体的には、利用者支援事業の実施が進む中で、人格権侵害や個人情報漏えい保険などを紹介するとともに、職員のけがに対する補償についても周知を行った。

●対象となる会員：「子育てひろば」もしくは類似の事業を実施されている会員の方

●保険期間：1年間（2024年4月1日午後4時～2025年4月1日午後4時まで）

※約定履行費用保険のみ、2024年4月1日午前0時～2025年3月31日午後12時

- 概要 (1) 賠償責任補償制度
- (2) ひろば施設内利用者傷害見舞金制度
- (3) 近隣活動・移動中傷害見舞金制度
- (4) ひろば職員傷害保険制度
- (5) サイバーリスク保険制度（個人情報漏えい保険）

(ご参考)2024年度のひろば保険事故報告一覧

保険内容		件数
賠償責任補償制度	—	2
ひろば施設内利用者傷害見舞金制度	子ども	62
	大人	5
近隣活動・移動中傷害見舞金制度	—	1
ひろば職員傷害保険制度	—	11

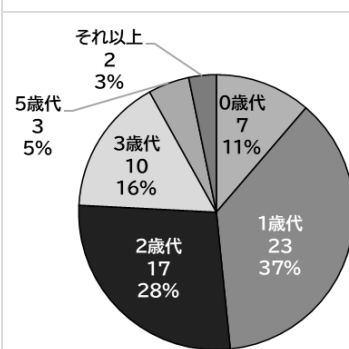
ひろば施設内利用者傷害見舞金制度の事故状況

種類	数	状況
接触 ぶつかる	18	狭い隙間を通り右足首捻挫
		つかまり立ちで座り込んだ際、顔を棚に接触
		水を飲もうとして顔をテーブルにぶつけた
		座っているときに転び、籠に頭をぶつけた
		寝返り時におもちゃに当たり、口の中を切った
		子ども同士でぶつかった
		ボールプールで転び、すべり台下の角にぶつけた
		遊具より飛び降りた際口を強打
		ロッカー角に顔をぶつけた
		倒れてテーブルに口をぶつけた（2件）
		子どもが他児と衝突し転倒
		遊んでいて床に滑って顔をぶつけた
		おもちゃの取り合い
		転倒した際に口をぶつけた
手すりをつかみ損ねて口元を手すりにぶつけた		
手をつこうとして転倒し顔をぶつけた		
別の子どもが投げた本が目当たった		
転落 落下	10	ソファ（30センチ）から転落、床に両手をついた
		すべり台横からジャンプした
		ソフトブロックを積んで飛び降りた
		すべり台で階段を踏み外し落下（4件）
転倒	26	体勢を崩し抱っこ中に床に落とした（2件）
		つかまり立ち中に前に転倒
		マットで転び下唇切傷
		後ろ歩きをして転倒、顔を遊具にぶつけた
		フロアの真ん中で転倒
		転倒し下唇切傷
		転倒し右手捻挫
		小走りで移動の際転倒
		躓いてテーブルに口をぶつけた
		椅子から転倒
		ひろば内で転倒し受付台の角にぶつけた
		躓いて長椅子のヘリで頬を打った
		遊具から転んで右ひじ脱臼
		室内遊具の移動の際転倒
		室内遊具の穴から出ようとした際転倒
		マットに躓き転倒
		走っていて転倒
		転んで左目強打
		すべり台に躓き転倒
		手押し車で転倒し顔面をぶつけた
手洗いの際転倒し顔面を打った		
おもちゃを追いかけていて転倒		
ハイハイで転倒し本棚に顔をぶつけた		
コップを持って転倒し目尻を裂傷		
ひろば内駐車場で転倒		
トランポリンで転び顔を打った		
躓いて転倒		
ハイハイで転倒		
引っ張る (脱臼)	2	母親が腕を引っ張った際に脱臼
		接触しかけて相手の子の両腕を持った
挟む	1	ドアで遊んでいて右手指を挟んだ
その他	5	箱に入り込み口腔内を切った
		木製ベンチの脚を触り棘が刺さり化膿
		手洗い場で顔を切った
		職員と一緒に跳んでいるときに肘が痛くなった
		おもちゃで移動中、突然肘が痛くなった

●こどもの怪我の内容 N=62



●こどもの年齢 N=62



●怪我の部位



6. 政策提言・情報提供・情報収集活動

(1) 意見書の提出・情報提供

【提出した意見書】

- ・ 5月24日 令和7年度子育て支援関連予算・制度等に向けての意見書
- ・ 8月2日 こども家庭審議会 子ども・子育て支援等分科会（第6回）への意見書
- ・ 9月26日 第2回こども誰でも通園制度の制度化、本格実施に向けた検討会への意見書
- ・ 10月17日 こども家庭審議会 子ども・子育て支援等分科会（第7回）への意見書
- ・ 11月20日 こども家庭審議会第4回成育医療等分科会への意見書
- ・ 12月19日 こども家庭審議会 子ども・子育て支援等分科会（第8回）への意見書
- ・ 12月26日 第4回こども誰でも通園の制度化、本格実施に向けた検討会への意見書
- ・ 2025年3月4日 こども家庭審議会 子ども・子育て支援等分科会（第9回）への意見書
- ・ 2025年3月12日 こども家庭審議会第5回成育医療等分科会への意見書

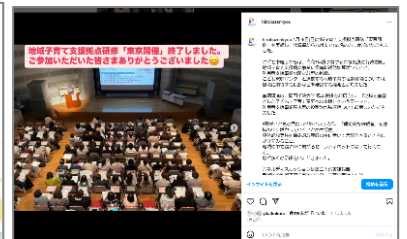
(2) 情報紙「子育てひろば」発行

- 発行時期：vol. 29（2024年8月）、vol. 30（2025年3月）
- 発行部数：各1,700部

(3) ホームページの充実と SNS での情報発信

2024年3月にホームページの改訂を行い、さらなるホームページの充実のために、各種事業の報告や情報提供などを行った。

- 各種セミナー、養成講座の募集告知
- 研修セミナー等の報告書がPDFで閲覧可能
- 国の委員会への意見書や国の最新情報共有
- 「各地のひろば」更新による会員ネットワーク形成



また、Instagramにおける SNS 発信は120投稿を行った。

(2025年3月末フォロワー数1127)

Instagram QRコード

(4) メールニュース配信

各種研修事業の案内や国の制度などの最新情報を提供。会員限定。

Vol. 205【2025年4月19日発行】～Vol. 216【2025年3月21日発行】全12本

(5) 電話相談対応

会員、行政等からの問い合わせ、ひろば保険、制度、運営等に関する相談対応。

(6) 新聞等メディア対応

取材対応、取材対象先に関する情報提供など。

7. 後援事業・委員委嘱

<後援名義>

①第22回子どもの虐待死を悼み命を讃える市民集会 2024

日程：2024年11月17日（日）13:00～17:30

主催：特定非営利活動法人児童虐待防止全国ネットワーク

<委員委嘱>

●2024年度 委員委嘱一覧

- ①内閣官房 こども未来戦略会議構成員 奥山千鶴子
- ②こども家庭庁 こども家庭審議会子ども・子育て支援等分科会委員 奥山千鶴子
- ③こども家庭庁 こども家庭審議会成育医療等分科会委員 藤井智佳子
- ④こども家庭庁 こども家庭審議会幼児期までのこどもの育ち部会 奥山千鶴子
- ⑤こども家庭庁 こども誰でも通園制度に関する検討会委員 奥山千鶴子
- ⑥こども家庭庁 こどもまんなか社会実現プラットフォーム（仮）設立準備会合委員 奥山千鶴子
- ⑦こども家庭庁 「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン」策定後の具体的な取組推進（具体的な行動に活かせるコンテンツ作成）に係る委託事業企画委員会委員（JTBコミュニケーションデザイン） 奥山千鶴子
- ⑧厚生労働省 地域共生社会の在り方検討会委員 松田妙子
- ⑨健やか親子21推進本部幹事会委員 奥山千鶴子
- ⑩国土交通省 社会資本整備審議会住宅宅地分科会臨時委員 奥山千鶴子
- ⑪国土交通省 子育てにやさしい移動に関する協議会委員 松田妙子
- ⑫国土交通省 バリアフリー基準に関する検討会委員 松田妙子
- ⑬国土交通省 バリアフリー法及び関連施策のあり方に関する検討会委員 松田妙子
- ⑭横浜市 親と子のつどいの広場事業運営団体選定委員会委員 松田妙子
- ⑮（一社）全国食支援活動協力会 「広がれ、こども食堂の輪！」推進会議委員 廣崎祥子
- ⑯（一社）読売調査研究機構 さいたま市子育て支援策検証業務「有識者委員会」委員 奥山千鶴子
- ⑰恩賜財団母子愛育会 時代に応じた新たな愛育活動の在り方検討会 奥山千鶴子

●2024年度 こども家庭庁委託事業の調査研究への委員参画

- ①出産、子育て応援交付金事業における伴走型相談支援のあり方に関する調査研究（野村総研） 小川由美
- ②地域子育て相談機関のあり方に関する調査研究（野村総研） 中條美奈子
- ③「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン」策定後の具体的な取り組み推進に係る委託事業一式実態調査委員会委員（日本能率協会） 奥山千鶴子
- ④10年後の子ども・子育て支援の在り方を考える研究会委員（日本総研） 奥山千鶴子

委員会ではない形式

- ①孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム幹事会（内閣府） ひろば全協として参画

8. 受取寄付金・給付金等のご報告

●熊谷組スマイルプロジェクト（株式会社熊谷組）：500,000円

株式会社熊谷組様の社会貢献活動プラットフォーム「熊谷組スマイルプロジェクト」に選定していただいた。社員の方がボランティア休暇を利用し、夕涼み会でスイカ割りのお手伝いなど、親子の見守りも行っていた。また、熊谷組のマスコットキャラ「くま所長」をあしらった『くまトレイン』を親子にプレゼントしていただいた。

●バイグニコ活動による資金支援プログラム『CSRイベント2024』（江崎グリコ株式会社）：758,066円

従業員自社商品購入点数をポイント化し、そのポイントを資金とした助成をいただいている。「健康」「食」「子ども」をテーマにした地域貢献活動のうち、「子ども」の分野でひろば全協をお選びいただいた。北海道、宮城、神奈川のひろばに協力いただき、社員の方がボランティアに参加。北海道らしい屋外での活動や周年イベントのお手伝いなど利用者との交流も行うことができた。

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員(団体)受取会費	2,304,000	
正会員(個人)受取会費	305,000	
ひろば会員受取会費	9,088,000	
賛助会員受取会費	60,000	
個人会員受取会費	303,000	12,060,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	1,260,066	1,260,066
3. 受取助成金等		
受取民間助成金	7,000,000	7,000,000
4. 事業収益		
子ども家庭庁受託事業収益	11,649,816	(注1)
自治体等受託事業収益	12,224,126	
自主事業収益	8,702,100	
手数料収益	1,298,163	33,874,205
5. その他収益		
受取利息	14,167	
雑収益	6,600	20,767
経常収益計		54,215,038
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	14,097,273	
臨時雇賃金	3,375,573	
法定福利費	309,709	
通勤費	46,104	
人件費計	17,828,659	
(2) その他経費		
諸謝金	6,936,900	(注2)
印刷製本費	2,115,654	
会議費	329,919	(注3)
旅費交通費	3,070,565	
通信運搬費	2,089,243	
消耗品費	1,115,936	
修繕費	61,303	
資料代	123,904	
水道光熱費	87,179	
地代家賃	899,514	
賃借料	1,520,183	
リース料	109,359	
減価償却費	504,933	
保険料	111,431	
租税公課	1,518,200	
支払手数料	1,666,449	
その他経費計	22,260,672	
事業費計		40,089,331
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	5,595,362	
臨時雇賃金	574,900	
法定福利費	1,475,681	
福利厚生費	280,660	
通勤費	426,480	
人件費計	8,353,083	
(2) その他経費		
諸謝金	302,000	
印刷製本費	396,642	
会議費	4,404	
旅費交通費	103,218	
通信運搬費	1,136,097	
消耗品費	369,303	
修繕費	170,027	
水道光熱費	123,908	
地代家賃	1,278,486	
賃借料	0	
リース料	155,433	
減価償却費	494,197	
保険料	27,396	
諸会費	16,375	
租税公課	8,910	
支払手数料	676,531	
雑費	50,624	
その他経費計	5,313,551	
管理費計		13,666,634
経常費用計		53,755,965
当期経常増減額		459,073
税引前当期正味財産増減額		459,073
法人税、住民税及び事業税		74,500
当期正味財産増減額		384,573
前期繰越正味財産額		39,192,575
次期繰越正味財産額		39,577,148

(注1) 登壇者謝金及び旅費交通費の実費精算 合計 1,669,816 円を含む

(注2) 子ども家庭庁受託事業 登壇者謝金の実費精算を含む。

(注3) 子ども家庭庁受託事業 旅費交通費の実費精算を含む

貸借対照表

2025年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	46,243,568		
未収金	1,566		
前払費用	505,560		
立替金	80,000		
流動資産合計		46,830,694	
2. 固定資産			
投資その他の資産			
敷金	465,000		
投資その他の資産計	465,000		
固定資産合計		465,000	
資産合計			47,295,694
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	1,555,477		
前受金	5,111,300		
預り金	150,869		
未払法人税等	74,500		
未払消費税	826,400		
流動負債合計		7,718,546	
負債合計			7,718,546
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		39,192,575	
当期正味財産増減額		384,573	
正味財産合計			39,577,148
負債及び正味財産合計			47,295,694

財務諸表の注記

1. 【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 【事業費の内訳】

事業費の区分は以下の通りです。

[税込] (単位: 円)

科目	特定非営利活動に係る事業				
	住友生命 助成金事業	こども家庭庁 受託事業	自治体等 受託事業	自主事業等	合計
(人件費)					
給料 手当	2,640,000	2,220,290	5,303,329	3,933,654	14,097,273
臨時雇賃金		2,191,173	1,076,400	108,000	3,375,573
法定福利費				309,709	309,709
通勤費		46,104			46,104
人件費計	2,640,000	4,457,567	6,379,729	4,351,363	17,828,659
(その他経費)					
諸謝金	1,721,000	1,073,900	2,667,000	1,475,000	6,936,900
印刷製本費	738,780	1,212,454	86,460	77,960	2,115,654
会議費		191,986	66,109	71,824	329,919
旅費交通費		2,301,131	315,789	453,645	3,070,565
通信運搬費	696,505	649,194	432,237	311,307	2,089,243
消耗品費	118,217	232,920	411,259	353,540	1,115,936
資料代			123,904		123,904
修繕費				61,303	61,303
水道光熱費				87,179	87,179
地代家賃				899,514	899,514
賃借料		979,003	48,160	493,020	1,520,183
リース料				109,359	109,359
減価償却費			290,154	214,779	504,933
保険料		40,342	46,568	24,521	111,431
租税公課		463,600	556,500	498,100	1,518,200
支払手数料	315,498	47,719	667,832	635,400	1,666,449
その他経費計	3,590,000	7,192,249	5,711,972	5,766,451	22,260,672
合計	6,230,000	11,649,816	12,091,701	10,117,814	40,089,331

こども家庭庁受託事業その他経費に登壇者謝金及び旅費実費精算分 合計 1,669,816 円を含む

3. 【固定資産の増減内訳】

固定資産の増減は以下の通りです。

(単位: 円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
什器備品	0	999,130	0	993,130	△ 993,130	0
投資その他の資産						
敷金	465,000	0	0	465,000	0	465,000
合計	465,000	999,130	0	1,458,130	△ 993,130	465,000

4. 【役員及びその近親者との取引の内容】

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位: 円)

科目	財務諸表に計 上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び 支配法人との取引
(活動計算書)			
事業費 諸謝金	6,936,900	3,858,000	0
管理費 給料手当	5,595,362	732,600	0
管理費 諸謝金	302,000	20,000	0
活動計算書計	12,834,262	4,610,600	0

財産目録

2025年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	65,989		
ゆうちょ銀行振替口座	5,021,000		
ゆうちょ銀行振替口座	79,730		
三菱 UFJ 銀行普通預金	41,054,958		
ゆうちょ銀行通常貯金	21,891		
未収金(事務手数料)	1,566		
前払費用(2025年4月分家賃等)	505,560		
立替金	80,000		
流動資産合計		46,830,694	
2. 固定資産			
投資その他の資産			
敷金(事務所敷金)	465,000		
固定資産合計		465,000	
資産合計			47,295,694
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用(後納郵便料金・クレジットカード決済額等)	1,555,477		
前受金(2025年度会費等)	5,111,300		
預り金(2025年3月社会保険料・源泉所得税預り金)	150,869		
未払法人税等	74,500		
未払消費税	826,400		
流動負債合計		7,718,546	
負債合計			7,718,546
正味財産			39,577,148

監査報告書

2025年4月25日

NP0 法人子育てひろば全国連絡協議会
理事長 奥山 千鶴子 様

監 事 鈴木 隆



監 事 米田 佐知子



私たち監事は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、NP0 法人子育てひろば全国連絡協議会の2024年度(令和6年度：2024年4月1日～2025年3月31日)の業務監査及び会計監査を実施した。

業務監査にあたっては、理事の業務執行の状況に関し、理事会に出席し必要と認める場合には質問を行った。また、会計監査にあたっては、財産の状況に関し、帳簿や証拠書類の閲覧、照合、質問等の手続きを行った。

これらの監査の結果、当法人の業務は、法令及び定款に基づき適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計の方法によって、適正に処理されているものと認められた。

よって、私たちは、上記期間に係る事業報告書及び計算書類が、NP0 法人子育てひろば全国連絡協議会の2025年(令和7年)3月31日をもって終了する事業年度の業務執行の状況、及び同日現在の財産の状況を適正に表示しているものと認める。

以上

2025年度の事業計画について

2025年4月より、こども大綱に基づく都道府県・市町村のこども計画（第3期子ども・子育て支援事業計画）がスタートしました。2024年度から施行されている「こども家庭センター」「地域子育て相談機関」等は、計画にどのように位置づけられているのでしょうか。地域子育て支援拠点事業、利用者支援事業に関わる「地域子育て相談機関」の設置率は、昨年度の国の調査では市町村の17%、準備中の20%を含めても4割以下となっています。こども政策が大きく動く現状を踏まえ、今後も子ども・子育て関連施策の動向に注目し、国や自治体に対しての要望、会員の皆さんにも逐次情報提供をしていきたいと思えます。

さて、本年度のこども家庭庁委託事業の研修を無事受託しました。全国セミナーは、奈良県奈良市での開催が決まり、地方セミナーは、佐賀、茨城、青森、東京にて開催いたします。恒例の「リーダーシップ研修」「プレママ・プレパパ向け講座のためのワークショップ」「利用者支援専門員（基本型）のひろば専用講座」「テーマ別交流会」に加えて、本年度は「会員向けオンライン相談」が始まります。

また、「予防型プログラム研修」は、「地域子育て支援拠点等従事者のためのグループワーク活用講座」に生まれ変わります。その他初任者研修、利用者支援事業等従事者研修、利用者支援スキルアップ研修、地域子育て支援士一種・二種養成講座等、ぜひご活用ください。

予想を上回る少子化の現状を踏まえ、子育て家庭のニーズの変化を把握、今後の事業展開に活かすため、拠点事業の運営施設と利用者を対象に調査研究を実施いたします。全国1,300拠点にアンケートをお願いいたしますので、ぜひご協力をお願い申し上げます。ひろば全協では、このアンケートの結果も踏まえて2026年2月10日には「10年後の地域子育て支援を見すえて いま語り合うべき視点」と題してオンラインフォーラムを開催する予定です。

本年度は、中期計画の最終年度となります。私たちは、人生におけるスタート期を応援する立場として、一人ひとりのこどもや子育て家庭がより豊かな人生を送れるウェルビーイングな地域づくりのため、「ともに支える。こどもと家庭に寄り添う拠点」のキャッチフレーズのもと、各事業を推進していく所存です。これは、国が推進している「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン（はじめの100か月の育ちビジョン）」の考え方に合致するものです。拠点事業の価値や可能性をビジョンに基づき可視化していることを目指していければと思います。

本年度も会員の皆さまと情報を共有し、学びや交流の機会を通じて、より豊かな社会づくりに向けて邁進したいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会 理事長 奥山千鶴子

重点テーマ (1) 地域子育て支援拠点の価値の発信と社会的認知度の向上

子どもを授かったときから、子育て家庭の身近な支え手として、家庭と地域のかけ橋を担ってきた価値を会員、利用者、自治体、企業等関係者ととともに社会に発信し、地域子育て支援拠点のさらなる社会的認知度の向上を目指す。

(1) 妊娠したら、育休取ったら、拠点へ GO! キャンペーンの実施

プレママ・プレパパ向けの WEB サイトの充実、SNS の発信に取り組み、地域子育て支援拠点の認知度アップに努める。

- ・会員支援として配布ツールの活用を促進する【継続】
- ・プレママ・プレパパに拠点を紹介しやすいように WEB サイトを充実させる (紹介ページの検索性を高める)【継続】
- ・各種研修の案内を行い、会員専用の研修の実施【継続】

(2) 拠点で取り組む最新情報の発信

2025 年度調査研究 (従事者向け・利用者向けアンケート調査結果) を生かし、拠点の現状や利用者のニーズを紹介、今後の事業運営に活用いただくとともに、拠点事業の可能性や価値を発信する。また、行政や他機関にも、拠点と協働することがさらなる子育て家庭応援になることを理解していただくツールとして実践事例を HP で紹介する。

- ・妊娠期からの支援の取組に関する実践事例をヒアリングし HP で紹介【継続】
- ・2025 年度調査研究 (従事者向け・利用者向けアンケート) をわかりやすく解説し HP で紹介【新規】

(3) 「はじめの 100 か月育ちの物語」(仮称) 作成準備 【新規】

「幼児期までの子どもの育ちに係る基本的なビジョン (はじめの 100 か月の育ちビジョン)」が令和 5 年 12 月 22 日に閣議決定されたことは、妊娠期から 0 歳、1 歳、2 歳の親子が集う地域子育て支援拠点の役割・価値を社会に広げていくチャンスでもある。今一度、子育て当事者・実践者・行政・他機関・地域の方々に拠点がビジョンを具現化していることを理解していただけるように 4 コマ漫画風動画を作成する。2025 年度には、試行版を作成、2026 年度には広く募集する。

重点テーマ (2) 会員と共に育てる豊かな地域子育て支援

(1) 会員間のコミュニティづくり

- ・研修セミナーを活用した交流機会の創出。
- ・こども家庭庁の研修セミナーの地方開催において、各開催地の状況に応じ交流の機会を作っていく。

●オンライン交流会 (9 月実施予定) 【継続】

全国各地のひろばを見てみたいがなかなか実現できないとの声から、オンラインでの見学会を行い、集まった会員の交流の場としていく。今年度は告知を工夫し参加者数増加に努める。

(2) ひろば全協へ意見を収集しニーズに沿った事業を実施

●テーマ別交流会 (会員の興味関心があるテーマ別に交流する機会を設けて情報交換を行う) 【継続】

- ・拠点ならではの「一時預かり」について語ろう (2025/7/16)
- ・拠点の防災について語ろう (2026/1/21)

●利用者支援専門員のひろば・専用講座・交流会 【継続】

今年度から会員外にも登録・参加を拡充。参加したことからの会員拡大を目指す。また参加者のネットワークを作り、広くニーズを探っていく。登録した利用者支援事業 (基本型) を実施する会員に講座を実施する。

- ・利用者支援専門員 (基本型) のひろば専用講座 (2025/9/19・2026/2/13)
- ・交流会 (2025/12/12)

●会員向けオンライン相談会【新規】 (2025/6/23、26)

2023 年に実施したアンケート結果や、2024 年度の会員交流の機会などから、運営上の相談の機会が必要とされていることを推測し、相談会を実施する。また相談会からもニーズを把握し、必要とされている事業を企画していく。

重点テーマ (3) 企業や行政をはじめとした多様な関係者とのつながりの強化

(1) 企業との連携

- ・プレママ・プレパパに関する企業向けチラシの修正版を作成する。(2026 年 3 月末まで)【新規】
- ・経団連と日本 NPO センター共催の「企業と NPO の集い」に参加し取組を紹介【継続】
- ・企業との連携具体例を掲載したひろば全協の紹介等のチラシを作成 (2026 年 1 月末まで)【新規】
- ・企業向けホームページの充実【継続】

(2) SNS の整備

- ・より多様なつながりをつくるために、質の向上につとめ、エンゲージメント率アップにつなげる。【継続】
- ・こども家庭庁が実施する「こどもまんなか応援サポーター」への参画を宣言し、「#こどもまんなかアクション」を展開する。【新規】

(3) 行政との連携

- ・都道府県別の地域子育て支援拠点一覧を最新のデータに更新する。【継続】

1. 住友生命「未来を強くする子育てプロジェクト」助成事業

(1) 利用者支援専門員（基本型）のひろば

事業創設から10年を超える利用者支援事業（基本型）は、身近な場所での個別の家庭のニーズ把握と円滑な事業・サービスへのつなぎ、そのための日常的な関係者との連携、必要な資源の開発等が実施されてきた。

子育てのスタート期に戸惑いを持ちやすい子育て家庭への伴走のため、利用者支援事業の目的や専門員の役割を確認し、学びを深めるための事例検討を行う講座や交流会を開催して情報交換を行い、支援員同士でスキルアップしていきたい。また対象を会員向けから、一般の利用者支援事業（基本型）を実施している団体または専門員に広げ、子育て支援関連の相談支援体制の強化、専門員の更なる社会的位置づけの向上を目指したい。

実施内容

1. 「利用者支援専門員（基本型）のひろば」への登録とメールマガジンの配信

隔月でメールマガジンを配信し、国の最新情報やトピックスなど利用者支援事業に特化した情報提供を行う。

2. 利用者支援専門員（基本型）のひろば専用講座・交流会の開催（オンライン開催）

利用者支援専門員のための講座（事例検討のグループワーク）と交流会を開催する。事例を活用して利用者支援専門員として行う支援を話し合い、そこで必要なポイントを講師が解説。また、利用者支援専門員は配置が少ないため相談先があまりない中、交流会では日頃の活動での気づきや課題等の情報交換を行う。

●講座

日程	時間	内容	定員
9/19（金）	13:30～15:30	ダブルケアを行う親への支援	50
2026/2/13(金)	13:30～15:30	メンタル疾患を持つ母親への支援	

●交流会

日程	時間	内容	定員
12/12（金）	13:30～15:30	交流会「どうしてる？地域資源の開発」	50

●講師：橋本真紀先生（関西学院大学 教授）＊講座のみ

●コーディネーター：3名（ひろば全協理事）

●参加費：無料

(2) プレママ・プレパパ向け講座のためのワークショップ（オンライン開催）

プレママ・プレパパを応援することで、子育て家庭が妊娠期から地域とつながり、安心して子育てできるよう「プレママ・プレパパ応援プロジェクト」を推進する。そこで、妊娠期からの切れ目ない支援のために、拠点でできる「プレママ・プレパパ向け講座」について考えるワークショップを開催する。

日程	時間	定員
8/21（木）	10:00～12:00	50
2026/1/27（火）	10:00～12:00	50

●対象：地域子育て支援拠点等でプレママ・プレパパ向け講座の開催を希望する団体に所属する方

●コーディネーター：2名（ひろば全協理事）

●参加費：無料

(3) テーマ別交流会（会員限定 オンライン開催）

拠点の支援者の間で関心の高い 2 つのテーマを設けて支援者同士で交流・情報交換し、支援者同士でピアサポートし合う機会として開催。また昨年度好評だった交流会後の 30 分延長プログラム「ちょこっと交流会」も引き続き開催する。

日時	テーマ	定員
7/16(水) 13:30~15:00 +ちょこっと交流会 30分	◆拠点ならではの「一時預かり」について語ろう こども誰でも通園制度のモデル実施が進み、こどもの預かり先の選択肢は増えていきます。拠点だからこそできる預かり支援について情報交換しましょう！	40
2026/1/21(水) 13:30~15:00 +ちょこっと交流会 30分	◆拠点の防災について語ろう 拠点の防災対策、どうされていますか？備えは日常の延長線上にあると言われていきます。日ごろからできることをみんなで情報交換します	40

●コーディネーター：1名（ひろば全協理事）

●参加要件：ひろば全協の会員であること

●参加費：無料

(4) 会員向けオンライン相談(オンライン)

組織運営の悩みについて団体の代表・施設長を対象にした「会員向けオンライン相談」を実施する。

担当理事と話をする中で解決の糸口を見つける時間を提供する。

日程	時間	担当
6/23 (月)	13:30~14:00	中條
	14:30~15:00	
	15:30~16:00	
6/26 (木)	13:30~14:00	松田
	14:30~15:00	
	15:30~16:00	

●対象：代表・施設長など 2 名まで

●参加費：無料

(5) 調査研究（従事者向け・利用者向けアンケート）

子育て家庭の現状や変化を把握し、地域子育て支援拠点の現場に活かすため、拠点事業の運営団体とその拠点を利用している父母を対象に、調査研究を実施する。

利用者へのアンケートについては子育て家庭の現状や拠点の利用に関する効果等を把握し、拠点へのアンケートは拠点の役割や取り組みの変化を把握し、最新のデータを講座・研修事業、セミナー、書籍等に反映し、拠点の質の向上をめざす。

●アンケート調査名：「地域子育て支援拠点の質的向上と発展に資する実践の状況把握調査」

●主任研究員：渡辺顕一郎先生（日本福祉大学 教授）

●集計・分析：株式会社データム

●調査対象：①拠点：1,300 拠点（47 都道府県）＊会員団体および拠点リストから無作為抽出

②拠点利用者：13,000 名（1 拠点 10 名）

●設問数：①②各 20 問程度

(6) フォーラム (オンライン)

●趣旨・目的

地域子育て支援拠点事業の事業者と利用者に対して行う調査結果を踏まえ、10年後の地域子育て支援を見ずえて、地域子育て支援拠点事業・利用者支援事業・地域子育て相談機関のこれからについて語り合う。

●テーマ

10年後の地域子育て支援を見ずえて いま語り合うべき視点
～地域子育て支援拠点事業・利用者支援事業・地域子育て相談機関のこれから

●日時：2026年2月10日(火) 13:30～16:00

●プログラム内容

1. 行政説明 こども家庭庁成育局成育環境課
 2. 基調講演 講師：渡辺 颯一郎先生(日本福祉大学 教授)
 3. トークセッション
話し手：渡辺 颯一郎先生
大村美智代(一般社団法人ここみ 代表理事)
地域子育て相談機関を実施している実践者1名
- コーディネーター：奥山千鶴子(ひろば全協 理事長)

●参加費：無料



2. こども家庭庁委託事業 地域の人材による子育て支援活動強化研修

(1) 全国規模 (全国セミナー)

開催名	全国子育てひろば実践交流セミナー in 奈良		
日時	11/29 (土) 13:00～17:30 11/30 (日) 9:00～12:30	(1日目：全体会) (2日目：分科会)	
会場	◆1日目： なら 100 年会館大ホール (奈良市三条宮前町 7-1) ◆2日目： 奈良県コンベンションセンター (奈良市三条大路 1-691-1)		
後援 (予定)	奈良県、奈良市、(社福)全国社会福祉協議会 日本子ども・子育て支援センター連絡協議会 (ここネット)		
運営協力	全国子育てひろば実践交流セミナー in 奈良実行委員会		
実行委員会事務局	NPO 法人 Ms ねっと		

(2) 地方ブロック (地域子育て支援拠点研修)

開催名	佐賀開催	茨城開催	青森開催	東京開催
日時	7/27 (日) 10:00～16:00	9/7 (日) 10:00～16:00	10/25 (土) 10:00～16:00	2026/1/25 (日) 10:00～16:00
会場	アバンセ ホール (佐賀市天神 3-2-11)	水戸市民会館 大会議室 (水戸市泉町 1-7-1)	青森市男女共同参画プラザ カダール AV多機能ホール (青森市新町 1-3-7)	東京ウィメンズプラザ ホール (渋谷区神宮前 5-53-67)
後援 (予定)	佐賀県・佐賀市 (社福)全国社会福祉協議会	茨城県・水戸市 (社福)全国社会福祉協議会	青森県・青森市 (社福)全国社会福祉協議会	東京都 (社福)全国社会福祉協議会
協力	NPO 法人アンジュ・ママン	NPO 法人セカンドリーグ茨城	NPO 法人子育て応援隊 ココネットあおり	NPO 法人 せたがや子育てネット

- 対象者 ・地域子育て支援拠点事業、利用者支援事業の従事者または従事予定の方
・行政の事業担当者
・地域において、子育て支援に従事している方

* 申込開始時期、締切等の詳細は、順次、メールニュースやホームページで告知。

3. 自治体等受託事業

地域子育て支援拠点従事者のための基礎研修・応用研修、講義型研修、地域子育て支援士二種養成講座、利用者支援事業等従事者研修を14自治体で実施予定。

4. 自主事業

(1) 地域子育て支援拠点等 初任者研修 (オンライン開催)

NO	日程	時間
1	6/13 (金)	10:00~12:00
2	8/7 (木)	10:00~12:00
3	9/26 (金)	10:00~12:00
4	11/5 (水)	10:00~12:00
5	2026/2/4 (水)	10:00~12:00

- 講師:1名(ひろば全協理事)
- 受講料:4,400円(税込)
- 受講対象:地域子育て支援拠点等の初任者、ボランティアスタッフなど
- 受講要件:PC等(1名1台)で顔を表示して受講できること

(2) 地域子育て支援士二種 養成講座 (オンライン開催)

NO	日程	時間	協力団体
1	6/24(火)	9:30~16:50	NPO法人ふらっとスペース金剛
2	8/28(木)	9:30~16:50	NPO法人アンジュ・ママン
3	10/15(水)	9:30~16:50	NPO法人松戸子育てさぼーとハーモニー
4	12/8(月)	9:30~16:50	NPO法人あっと
5	2026/2/2(月)	9:30~16:50	認定NPO法人マミーズ・ネット

- 講師:1名(ひろば全協理事)
- 受講料:9,900円(税込)
- 認定:講座終了時の認定試験合格者に認定証発行
- 受講要件
 - ・PC等(1名1台)で顔を表示すること、音声をONにできること
 - ・次の①~④のいずれかにあてはまること
 - ①地域子育て支援拠点等における活動者(有給の職員だけでなく継続的なボランティアも含む)
 - ②大学・短大・専門学校等において保育士・社会福祉士・保健師 いずれかの養成課程に在籍する学生
その他、心理学を修める大学の学部・学科に在籍する学生
 - ③保育士・社会福祉士・保健師のいずれかの資格取得者
 - ④地域子育て支援拠点等におけるボランティア経験を有する者

(3) 地域子育て支援士一種 養成講座

日程	時間	定員
8/23 (土) ~8/25 (月)	10:00~17:20	30

- 会場：GINZA Uni-Ku(銀座ユニーク)7丁目店4階N402 (東京都中央区銀座7丁目13-15)
- 講師：渡辺 頤一郎先生 (日本福祉大学 教育・心理学部子ども発達学科 教授)
奥山千鶴子 (NPO法人子育てひろば全国連絡協議会 理事長)
- 受講料：50,600円 (税込)
- 講義内容：「家庭支援の視点」「地域子育て支援拠点の機能と役割」「子どもの発達と環境づくり」「支援の基本原則とマネジメント」
- 認定：3日間を通して講座を受講し振り返りレポートを提出した方に認定証を発行
- 受講要件：要件①・②の両方を満たし、3日間すべて受講可能な方
【要件①】週3日1日3時間以上開設の地域子育て支援拠点等で概ね3年または通算1,300時間程度の実践経験
【要件②】*以下の項目のいずれかを満たすこと
保育士・社会福祉士・看護師・助産師・保健師・精神保健福祉士・臨床心理士・「地域子育て支援士二種」認定者・ひろば全協「応用研修」修了者・地域子育て支援拠点の「所長」として3年以上の経験者

(4) 地域子育て支援拠点等従事者のための グループワーク活用講座 (オンライン開催)

NO	日程	時間	定員
1	7/30 (水)	13:30~16:30	40
2	12/11 (木)	13:30~16:30	40

- 講師：1名 (ひろば全協理事)
- 受講料：5,500円 (税込)
- 内容：「予防型プログラム (講座・講習)」の冊子を活用した講義とグループワーク
- 対象：利用者参加型のグループワークを活用したプログラムの開催を希望する地域子育て支援拠点職員

(5) 利用者支援事業等従事者研修 (オンライン開催)

NO	日程	時間	定員
1	8/1 (金)	9:30~18:30	50
2	11/17 (月)	9:30~18:30	50

- 講師：2名 (ひろば全協理事)
- 受講料：26,400円 (税込)
- 修了証書：事前課題に取り組んだ上、講座を受講した方に修了証書発行
- 受講要件：①PC等 (1名1台) で顔を表示すること、音声をONにできること
②地域子育て支援拠点など親子が継続的に利用できる施設で、概ね3年または通算1,300時間程度の実践経験者、および、それらに準ずる者

(6) 利用者支援スキルアップ講座 (オンライン開催)

「利用者支援事業等従事者研修修了者」と、利用者支援事業現任者やそれに準ずる方にもご参加いただける「利用者支援スキルアップ講座」を実施する。

日程	時間	定員
2026/2/26 (木)	13:30~16:30	40

- テーマ：「利用者理解のための記録のとり方と活用 (仮)」
- 講師：朝比奈ミカさん (市川市よりそい支援事業がじゅまる+センター長)
- コーディネーター：ひろば全協理事
- 受講料：12,100円 (税込)
- 受講要件：下記のいずれかに当てはまる方
 - ・利用者支援事業等従事者研修の修了者
 - ・利用者支援事業現任者
 - ・利用者支援事業に類する業務の従事者

(7) リーダーシップ研修 (対面研修)

	日程	時間	定員
1日目	7/5 (土)	13:00~18:00	48
2日目	7/6 (日)	9:00~12:00	

- 会場：ビジョンセンター横浜みなとみらい706
(横浜市西区みなとみらい3-6-1 みなとみらいセンタービル7階)
- 講師：ひろば全協理事
- 受講料：22,000円 (税込)
- 受講対象：団体の代表、理事、サブリーダー、次世代リーダーなどでリーダーシップを身につけたいとお考えの方
- 受講要件：ひろば全協の会員の方で2日間受講可能な方
- 申込締切：先着順・定員になり次第締切

(8) 公開セミナー (オンライン開催)

- 日時：2025年6月1日(日) 13:50~16:30
- プログラム テーマ：「ウェルビーイングがひびきあう場を地域につくる」
 - ・行政説明 安里賀奈子さん (こども家庭庁成育局成育環境課長)
 - ・基調講演 講師：山口有紗さん (子どもの虐待防止センター 児童精神科医)
 - ・トークセッション 話し手 山口有紗さん (子どもの虐待防止センター 児童精神科医)
話し手 田中加寿子 (ひろば全協 理事)
コーディネーター 松田妙子 (ひろば全協 理事)
- ・情報交換会(16:00~16:30は会員限定) コーディネーター：小川由美 (ひろば全協 理事)

(9) 子育てひろば総合補償制度の拡充

*引き受け保険会社：東京海上日動火災保険株式会社

子育てひろばで発生しうる事故を想定して作られた総合補償制度。任意加入であるが、安心、安全のためにも補償制度の更なる普及を目指す。また、事故申請の内容を確認し、各ひろばへの情報還元を行うなど、ひろばでの事故予防にも努める。

- 対象となる会員：「子育てひろば」もしくは類似の事業を実施されている会員の方
- 保険期間：1年間 (2025年4月1日午後4時~2026年4月1日午後4時まで)
※約定履行費用保険のみ、2025年4月1日午前0時~2026年3月31日午後12時
- 概要 (1) 賠償責任補償制度
(2) ひろば施設内利用者傷害見舞金制度
(3) 近隣活動・移動中傷害見舞金制度
(4) ひろば職員傷害保険制度
(5) サイバーリスク保険制度 (個人情報漏えい保険)

5. 政策提言・情報提供・情報収集活動

(1) 意見書の提出

各種委員会に出席し意見書を提出すると共に、こども家庭庁に次年度予算等の要望書を提出する。

(2) 情報紙「子育てひろば」発行

●発行予定時期：vol. 31…2025年8月、 vol. 32…2026年3月 ●発行部数：各1,700部

(3) ホームページやSNSでの情報発信

- 各種講座や研修セミナー等の広報と実施報告を行う。
- ホームページやInstagram等の内容を充実させSNSのフォロワー数を増やす。
- 「各地のひろば」(会員のHPのリンク集)の更新。会員ネットワーク形成のきっかけとする。
- 国の会議に提出した意見書の公開および、国から提供された最新情報の提供。

(4) メールニュース配信

各種研修事業の案内や国の制度などの最新情報を提供。会員限定・月1回定期配信。

(5) 電話相談対応

会員、行政等からの問い合わせ、ひろば保険、拠点運営に関する相談対応。

(6) 新聞等メディア対応

取材対応、取材対象先の情報提供など。

(7) 自治体向け研修紹介パンフレット作成

基礎研修、応用研修、中堅者研修、地域子育て支援士二種、利用者支援事業等従事者研修、グループワーク活用講座、初任者研修、スキルアップ研修、講義型研修など、ひろば全協の研修プログラムを紹介する。

6. 委員委嘱

- ①内閣官房 こども未来戦略会議構成員 奥山千鶴子
 - ②こども家庭庁 こども家庭審議会子ども・子育て支援等分科会委員 奥山千鶴子
 - ③こども家庭庁 こども家庭審議会成育医療等分科会委員 藤井智佳子
 - ④こども家庭庁 こども家庭審議会幼児期までのこどもの育ち部会 奥山千鶴子
 - ⑤厚生労働省 地域共生社会の在り方検討会委員 松田妙子
 - ⑥健やか親子21推進本部幹事会委員 奥山千鶴子
 - ⑦国土交通省 社会資本整備審議会住宅地分科会臨時委員 奥山千鶴子
 - ⑧国土交通省 子育てにやさしい移動に関する協議会委員 松田妙子
 - ⑨国土交通省 バリアフリー基準に関する検討会委員 松田妙子
 - ⑩国土交通省 バリアフリー法及び関連施策のあり方に関する検討会委員 松田妙子
 - ⑪横浜市 親と子のつどいの広場事業運営団体選定委員会委員 松田妙子
 - ⑫(一社)全国食支援活動協力会 「広がれ、こども食堂の輪！」推進会議委員 廣崎祥子
- *委員会ではない形式
- ①内閣府 孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム幹事会 ひろば全協として参画

第4号議案 2025年度予算(案)の件

活動予算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位:円)

<2025年度活動予算書(案)>

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員(団体)受取会費	2,328,000	
正会員(個人)受取会費	310,000	
ひろば会員受取会費	9,336,000	
賛助会員受取会費	306,000	
個人会員受取会費	50,000	12,330,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	1,000,000	1,000,000
3. 受取助成金等		
受取民間助成金	7,000,000	7,000,000
4. 事業収益		
こども家庭庁受託事業収益	11,590,500	
自治体等受託事業収益	8,250,000	
自主事業収益	9,526,000	
手数料収益	1,300,000	30,666,500
5. その他収益		
雑収益	400,000	400,000
経常収益計		51,396,500
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	14,789,300	
臨時雇賃金	3,063,000	
法定福利費	227,000	
通勤費	101,000	
人件費計	18,180,300	
(2) その他経費		
諸謝金	4,736,100	
印刷製本費	1,480,000	
会議費	297,600	
旅費交通費	2,789,500	
通信運搬費	2,278,000	
消耗品費	983,000	
資料代	130,000	
水道光熱費	61,500	
地代家賃	320,000	
賃借料	1,724,500	
リース料	117,000	
保険料	83,000	
租税公課	1,320,500	
支払手数料	2,169,000	
その他経費計	18,489,700	
事業費計		36,670,000
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	5,650,000	
臨時雇賃金	400,000	
法定福利費	1,708,000	
福利厚生費	280,000	
通勤費	400,000	
人件費計	8,438,000	
(2) その他経費		
諸謝金	320,000	
印刷製本費	270,000	
会議費	50,000	
旅費交通費	370,000	
通信運搬費	950,000	
消耗品費	1,020,000	
水道光熱費	170,000	
地代家賃	1,858,000	
賃借料	0	
リース料	266,000	
保険料	43,000	
諸会費	16,500	
租税公課	10,000	
支払手数料	800,000	
雑費	20,000	
その他経費計	6,163,500	
管理費計		14,601,500
経常費用計		51,271,500
当期経常増減額		125,000
税引前当期正味財産増減額		125,000
法人税、住民税及び事業税		74,500
当期正味財産増減額		50,500
前期繰越正味財産額		39,577,148
次期繰越正味財産額		39,627,648

(注1) 登壇者謝金及び旅費交通費の実費精算 合計1,600,500円を含む
(注2) こども家庭庁受託事業 登壇者謝金の実費精算を含む
(注3) こども家庭庁受託事業 旅費交通費の実費精算を含む

※総会以降に発生した新たな事業については、予算執行を理事会に一任することをご承認願います。

財務諸表の注記

1. 【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO 法人会計基準（2010 年 7 月 20 日 2017 年 12 月 12 日最終改正 NPO 法人会計基準協議会）によっています。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 【事業費の内訳】

事業費の区分は以下の通りです。

[税込] (単位：円)

科目	特定非営利活動に係る事業				合計
	住友生命 助成金事業	子ども家庭庁 受託事業	自治体等 受託事業	自主事業等	
(人件費)					
給料 手当	2,640,000	2,549,300	3,550,000	6,050,000	14,789,300
臨時雇賃金		1,935,000	1,128,000		3,063,000
法定福利費				227,000	227,000
通勤費		101,000			101,000
人件費計	2,640,000	4,585,300	4,678,000	6,277,000	18,180,300
(その他経費)					
諸謝金	844,000	1,081,100	1,420,000	1,391,000	4,736,100
印刷製本費	60,000	1,150,000	100,000	170,000	1,480,000
会議費		182,600	70,000	45,000	297,600
旅費交通費		1,944,500	395,000	450,000	2,789,500
通信運搬費	984,000	686,000	400,000	208,000	2,278,000
消耗品費	144,000	239,000	250,000	350,000	983,000
資料代			130,000		130,000
水道光熱費				61,500	61,500
地代家賃				320,000	320,000
賃借料		1,180,500	20,000	524,000	1,724,500
リース料				117,000	117,000
保険料		42,500	30,000	10,500	83,000
租税公課		454,000	375,000	491,500	1,320,500
支払手数料	1,558,000	45,000	240,000	326,000	2,169,000
その他経費計	3,590,000	7,005,200	3,430,000	4,464,500	18,489,700
合計	6,230,000	11,590,500	8,108,000	10,741,500	36,670,000

子ども家庭庁受託事業その他経費に登壇者謝金及び旅費実費精算分 合計 1,600,500 円を含む

3. 【固定資産の増減内訳】

固定資産の増減は以下の通りです。

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
投資その他の資産						
敷金	465,000	0	0	465,000		465,000
合計	465,000	0	0	465,000		465,000